

OPACK^{オーパック}めーる

Organization for Promotion Academic City by Kyushu University



<http://www.opack.jp/>

～九州大学学術研究都市づくりに向けて～

福岡市産学連携交流センターの入居者を募集

ーレンタルラボ・レンタルオフィス2007年10月9日申請受付開始ー

2008年4月、九州大学伊都キャンパスのメインゲートそばに「福岡市産学連携交流センター」がオープンします。

同センターは、九州大学との産学連携のメリットを最大限に活用できる施設で、新しい事業・産業の創出や製品開発を目指す企業・研究機関等の入居者を募集します。

OPACKではこれまで、この施設がより使い易い施設となるよう2年間にわたり調査を実施するとともに、今年度は入居勧誘のためのPR、企業訪問活動を推進しています。ご希望の方はOPACKにご連絡頂ければ説明にお伺いします。



福岡市産学連携交流センター完成イメージ図

ここがすごい！充実したサポート

- 九州大学知的財産本部などと連携した共同研究コーディネーターや技術相談
 - 九州大学未来化学創造センターと連携した研究開発の支援
 - 九州大学の豊富な先端機器が利用可能(要相談)
 - 九州大学理科系図書館分室(サービスコーナー)をセンター1階に設置
- 基幹研究室(1階)には、先端科学技術に関する研究を行う大学研究室等が入居します。

施設概要

- 【所在地】福岡市西区大学元岡203-1
 【供用開始】2008年4月1日
 【利用期間】3年以内(継続利用は新たな申請・審査が必要)
 【施設規模】敷地面積4,000㎡ 延床面積2,417㎡
 【主要諸室】レンタルラボ・レンタルオフィス・交流ホール・商談室等

施設使用料

レンタルラボ	部屋面積	使用料/月	部屋数	備考
	50㎡	150,000円	7	駐車場2,000円 (1月1台につき)
レンタルオフィス	44㎡	132,000円	1	
	40㎡	120,000円	1	
	36㎡	108,000円	1	
	32㎡	96,000円	1	
	28.8㎡	87,000円	1	
	25㎡	75,000円	5	

- ※産学連携交流により研究開発を行う企業のうち、創業予定者及び創業して5年未満の企業は1/2の減免有り。
- ※市が特別な装置(ドラフトチャンバー)を設置した場合の研究室等の使用料については上記の額に1月当たり当該装置1台につき30,000円を加算。
- ※その他、研究室の使用に係る光熱水費、廃棄物や廃液等の保管・処理に要する費用等は入居者の負担。

応募資格

産学連携交流により研究開発を行う企業等及び当該企業等に対し経営又は技術の支援を行う企業。

申し込みから入居まで

申請受付 2007年10月9日(火)～11月15日(木)

審査・選考 審査委員による審査を実施の上、選考。
 審査期間:11月下旬から12月中旬

結果通知 申請者全員に審査結果を通知(12月下旬から1月上旬)

施設入居 2008年4月以降

応募方法

【応募方法】必要書類一式を下記受付先へ郵送又は持参。応募にあたっては、必ず同センターのホームページ(<http://sangaku-center.city.fukuoka.jp>)をご確認ください。

【受付期間】2007年10月9日(火)～11月15日(木)

※郵送の場合は11月15日(木)必着。

※持参の場合は、平日の午前9時30分から午後5時まで受付。

問合せ先及び申請受付

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1
 福岡市役所 経済振興局新産業課(学術・産学連携担当)
 TEL(092)711-4344 FAX(092)733-5593



活動報告

「第2回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」を開催

7月26日(木)福岡ガーデンパレスにおいて、『第2回「九州大学学術研究都市情報交流セミナー」～ビジネスチャンスは九大学研都市から～』を九州経済連合会、九州大学、福岡県、福岡市、前原市、志摩町、二丈町と共同で開催しました。

セミナーでは、九大学研都市情報を提供するとともに、福岡銀行及び九州大学よりお招きした講師の方々による産学連携への取り組みについての講演を行いました。また、セミナー後の交流会におきましても活発な情報交換が行われました。

当日は、摂氏30度を超える暑い日でしたが、九州大学との産学連携や九大学研都市への進出等に関心を寄せていらっしゃる地元企業の方々ほか多くの皆様(関係者を除き総勢94名)にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。

たくさんの皆様方のご来場ありがとうございました。

第3回の情報交流セミナーは、来年2月頃の開催を予定しています。今回のセミナーでお寄せ頂きましたアンケートを基に、更に有益なセミナーにする所存ですので、ご来場くださいますようお願いいたします。



満員のセミナー会場



交流会にて

「まちと大学をつくる～タウン・オン・キャンパスまちづくり推進会議」中間報告

8月21日(火)九州大学伊都キャンパスビッグオレンジにおいて「まちと大学をつくる～タウン・オン・キャンパスまちづくり推進会議」(以下TOC会議)の中間報告会が行われました。OPACKめーるの前号でも少し触れましたが、自発的に参集した九州大学の学生及び職員、地元住民、自治体職員等のメンバーで構成されるTOC会議は、魅力的な大学まちをつくることを目的として本年3月に発足しました。8月までの5回に及ぶTOC会議への参加者延べ人数は250名を上回っており、毎回活発な意見交換と様々な視点からの提案が行われてきました。

8月10日にはまちづくり部会による「糸島景観セミナー～糸島の風景を考える～」を開催する等、ライフスタイル(商業飲食)部会、食農環(交流貢献)部会、情報発信部会の4部会による取り組みが、着実に始まっています。中間報告会では、各部会からの報告、今後の方向性の再確認等が行われました。

また、このTOC会議の取り組みは、8月28日(火)に日本建築学会都市計画委員会キャンパス計画小委員会主催の下、伊都キャンパスに全国の大学関係者が集い開催された情報交流シンポジウムの中でも紹介されています。



「光と水の伊都未来都市構想」第1回総会の開催を支援

9月6日(木)九州大学医学部百年講堂において「光と水の伊都未来都市構想」第1回総会が行われました。「光と水の伊都未来都市構想」は九州大学の応用化学部門等の研究成果を産業界・

行政との連携協力により社会的に要望の高い技術の開発及び実証へ繋げ、伊都未来都市づくりの一翼を担うことを目的に設立された産学官連携コンソーシアムです。その会員には九州大学応用化学部門の全教官、行政機関、100社を超える企業等が名を連ねており、目的達成へ向け、「光」「ナノテク」「バイオ」「エコ」の四部会が設置されています。

総会には約120名が参加し、会則の承認等が行われ、その後の講演会では、応用化学部門の今坂教授らより研究活動の紹介が行われました。OPACKでは、未来都市の実現に向けてコンソーシアムの活動を支援して参ります。



「福岡ナノテクNOW2007」に出展

6月21日(木)から23日(土)までの3日間、北九州市小倉北区・西日本総合展示場 新館において開催された「福岡ナノテクNOW2007」に出展し、ブースでは、DVD映写、パネル・パンフレットの展示を行い、来場者に九州大学学術研究都市の魅力を紹介しました。

今年は、他に「西日本総合機械展」「ふくおか産業技術振興展」「アジア産業交流フェア」「ロボット産業マッチングフェア」という5つのフェアが一体となって開催され、多くの出展企業の技術・情報の収集も行いました。



来場者数:18,058人

九州大学発ベンチャー紹介《株式会社ユーテラス》



(株)ユーテラスを始め多くのベンチャーが入居している百道浜の福岡システムLSI総合開発センター

【スパムブログ検出サービス】

数年前から急速に普及したブログは、現在ではインターネット上の重要な情報源となっています。ブログの情報価値が高まる中で、商業活動だけを目的とした情報価値の低いブログ（スパムブログ）が出現しました。

株式会社ユーテラスは、九州大学の研究成果を活用し、スパムブログ検出サービスの事業化を進めるベンチャー企業です。

■ ネットビジネスとブログスパム

インターネットを利用することで世界中の顧客に商品を販売することができます。インターネットを利用したビジネスで重要なことのひとつに、ウェブサイトを可能な限り多くの顧客に見てもらおうことが挙げられます。

ブログシステムの特徴

- ・ 記事の作成・編集が容易
- ・ 検索エンジンの上位表示が容易

スパムブログはブログシステムの特徴を活かし、同じ内容や同じ文章のブログを大量生産することで、数多くのインターネットユーザを商品販売サイトに誘導します。

昨今、検索結果の上位にはスパムブログが大量に混入し、インターネットの利便性が著しく損なわれています。

■ スпам行為を捕らえる技術

スパムブログの中には、成人向けサイトだけではなく、インターネット通信販売サイトへの誘導を目的としたものも数多く存在するため、キーワードによる検出が有効に機能しません。

ユーテラスのスパムブログ検出システムは、大量のブログの中からコピーによって生成されたスパムブログを検出します。内容に基づく従来の検出方法と異なり、スパム行為そのものを捕らえることができます。

	キーワード検出	コピー検出
成人向けスパム	○	○
通販誘導スパム	×	○
検出するもの	スパム内容	スパム行為

■ 知的財産本部の活動から生まれたベンチャー

株式会社ユーテラスは、九州大学知的財産本部の活動から生まれたベンチャー企業です。

2006年の春、九州大学知的財産本部起業支援部門主催の「ビジネスプラン作成セミナー」において、九州大学システム情報科学研究所の池田大輔准教授らは技術シーズを核としたビジネスプランを作成しました。このビジネスプランは、日本MITエンタープライズフォーラム主催のビジネスプランコンテストでの最優秀賞を受賞しました。この受賞をきっかけに、当時九州大学経済学府産業マネジメント専攻（ビジネススクール）の学生であった坂根氏を代表者とする株式会社ユーテラスを立ち上げ、事業化を進めています。

■ お問い合わせ先



株式会社 ユーテラス
 代表取締役 坂根 毅
 Website : <http://u-tellus.com/>
 E-mail : info@u-tellus.com

研究室からこんにちは《超高压電子顕微鏡室・松村研究室》



【透過電子顕微鏡を用いたナノ構造・組織解析】

研究シーズ紹介

- ・ 物質・材料のナノメートルスケールでの微細構造の解析
 - ・ 高速電子、高速イオン照射による微細構造の形成と材料改質
- ※1ナノメートルは 10^9 分の1メートルです。

研究室からのインフォメーション（簡単な自己紹介、コメント等）

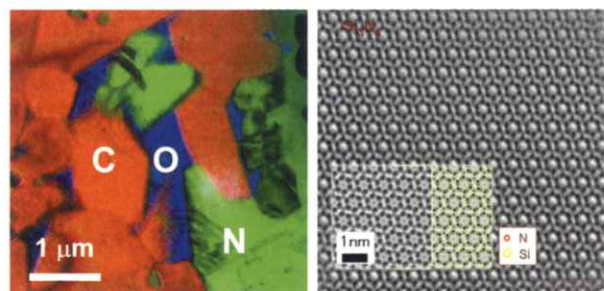
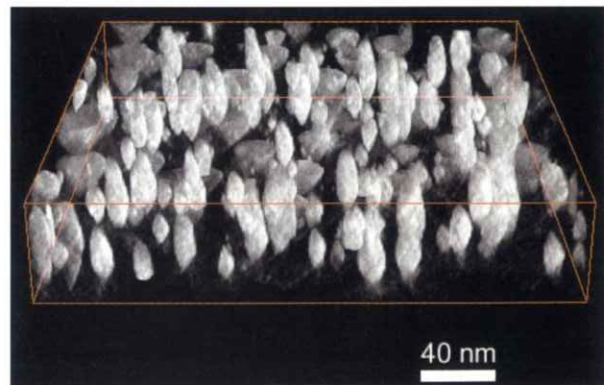
- ・ 機能が異なる9台の透過電子顕微鏡が設置されており、様々な物質や先端材料のナノ構造や組織の解析とそれらが示す性質・機能に関する研究に広く使われています。
- ・ 伊都地区の最新鋭の超高压電子顕微鏡は、数々の世界唯一の機能を誇るものであり、新たな物質研究の可能性を拓けます。そのための実験手法の確立の研究も進めています。
- ・ 高速イオンや高速電子照射による材料改質に関する研究も進めています。

研究シーズの可能性のヒント

- ・ 最新の透過電子顕微鏡は、ナノ構造の観察だけでなく、元素分布や3次元形態の解析も可能です。
- ・ 学外の研究者にこれらの装置利用と解析研究の支援を進める「超高压電子顕微鏡フォーラム」事業をOPACKと連携して進めています。



伊都地区に設置された最新鋭の超高压電子顕微鏡

SiC/Si₃N₄の元素分布を示す像Si₃N₄の原子配列

FePt合金のナノ粒子の3次元形態と配列を明らかにするトモグラフィー像

問い合わせ先

- ・ E-mail: syo@nucl.kyushu-u.ac.jp (松村)
- ・ Homepage: <http://www.zaiko.kyushu-u.ac.jp/hvem/>
<http://www.opack.jp/seedsneedsdb/index.html>

自治体からの報告

Report from municipality

前原市企業誘致状況について

今回は、前原市内におきまして事業を進めております2つの工業団地につきまして紹介をさせていただきます。

「前原IC地区A産業団地」

ここは、前原市土地開発公社が主体となり平成20年度造成完了をめざして事業を進めているところで、総面積が10.7ha、そのうち宅地面積は5.6haあり、区画につきましては7区画あります。そのうち5区画については進出企業が決定しており、あとの2区画については、現在誘致活動を行っているところです。

「前原IC南地区リサーチパーク」

これはA産業団地の西部に隣接しており、福岡県が事業主体となり造成計画を進めています。

ここは、その名のとおり研究施設を誘致してくることにより、九州大学との産学連携による新産業の創出の場となることを目的としており、平成21年度に造成完了の予定です。総面積は25.2ha、そのうち宅地面積は14haとなります。

これら2箇所については、九州大学伊都キャンパス



からも車で15分程度、西九州自動車道にも隣接しているという交通の利便性に優れています。前原市としましても産業の活性化に繋がる重要な事業と位置付けておりますので、ご相談等ありましたらご連絡ください。

問い合わせ先：前原市産業振興部企業立地課
 福岡県前原市前原西1-1-1
 TEL:092-323-1111 FAX:092-324-5509
 e-mail:kigyou@city.maebaru.fukuoka.jp
 HP:http://www.city.maebaru.fukuoka.jp/

都市と大学探訪2 -ベルギー編-

ルーバン・ラヌーブ とルーバン・カトリック大学

Opackめーるvol.6
 でご紹介したルーバン・カトリック大学は、知的な文化都市を目指し、ニュータウンと大学を一体的につくった事例としても有名です。1425年に創設したルーベンの本校とは別に、フランス語圏の大学として1968年に分離移転し、現在では学生数2万人を有するEUの拠点大学です。大学の中心部では、鉄道駅、自動車道、駐車場などの交通インフラを下層階に配置することによって、上層階を歩行者が安心して歩かまわることのできる空間をつくりだしています。自動車を排除しているため、まち全体に狭い路地空間をめぐらしており、まるで中世都市のようです。歩行者空間レベルにはレストラン、店舗、映画館などの商業施設によって、まちのにぎわいを演出するとともに、



ルーバン・ラヌーブ全体模型

上階には講義室や宿舎などの大学関連施設を配置しています。研究者や学生だけでなく、買い物客、子供、老人が訪れており、コンパクトな都市の好事例となっています。近年になって、中心部に大規模な商業施設をさらに増設しており、歩いて交流できる大学都市は成長を続けています。

坂井猛(九州大学)

フランス語圏の大学として1968年に分離移転し、現在では学生数2万人を有するEUの拠点大学です。大学の中心部では、鉄道駅、自動車道、駐車場などの交通インフラを下層階に配置することによって、上層階を歩行者が安心して歩かまわることのできる空間をつくりだしています。自動車を排除しているため、まち全体に狭い路地空間をめぐらしており、まるで中世都市のようです。歩行者空間レベルにはレストラン、店舗、映画館などの商業施設によって、まちのにぎわいを演出するとともに、

中世都市のような中心部

